

## 10代 の意見

助け合いの心で  
食品ロス解消へ

◇最近、新聞やテレビの中

でよく聞くようになった「SDGs」という言葉。私も高1の時、学校の授業を通して知りました。SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた国際社会共通の目標で、30年までに達成すべき17の目標で構成されています。SDGsは国や政府、企業だけが意識すべき目

標ではなく、私たち一人一人にも密接に関わっている問題です。

◇私の学校ではこの中の「飢餓をゼロに」という

目標達成のための食品ロスを解消する取り組みを生徒会が中心となり行っています。まだ食べられる「もったいない」食品をフードバンクに寄付しています。私も非常食として備蓄しているレトルト食品を寄付しました。日本の「もったいない」の考えは、ただ無駄なことはしないというだけでなく、自然の恵み、

ただでなく、作ってくれた人に感謝する気持ちなのだという意見を聞きました。

私は、自分さえ良ければと思うのではなく、分け合い、助

け合う心が日本の「もったいない」の根底にあるのだと思いました。自分も同じように大事に思える優しさを学びました。

◇私たち一人一人にもできることは数多くあります。30年の世界を考え、その先の未来に引き継いでいくためにSDGsを自分の問題として捉え活動し、一人一人の生活の中に浸透させていくことが大切だと感じました。

（山梨英和高3年・斉藤朱）

ただでなく、作ってくれた人に感謝する気持ちなのだという意見を聞きました。

私は、自分さえ良ければと思うのではなく、分け合い、助